

がそれぞれ一つのコースを形成する外に、經濟學、英語、歴史、數學、力學のコースがあり、さらに學生は、これらを組み合わせて、應力解析、ラジオおよびテレビジョン、衛生工學、ジェット推進およびガスタルビン、原子および表面物理學、電子學、原子化學、溶接、都市計畫などのコースを選ぶこともできる。

大學院を終えて稱號または學位を得るには、マスターコースでは30單位以上、ドクターコースでは90單位以上を學修し、兩者とも、少くとも1學年またはそれに相當する期間だけ現實に在學することが要求されている。



イリノイ大學のマーク

與えるマスターの稱號は、M.Aero. E., M.Arch., M.C.E., M.Ch.E., M.E.E., M.M.E., M. Met.E., M.Mgt.E. と M.S. (生物學、化學、燃料資源、數學、力學、物理學) である。ドクターの學位は、普通は Doctor of Philosophy (Ph.D.) として與えるが、特別な場合には、工學の専門分野を冠したものを與える。

大學院の學科課程の例として、航空工學コースで用意される専門科目をあげると、次のとおりである。ただしカッコ内は單位數である。

非壓縮性流體力學理論 (3)、壓縮性流體力學理論 (3)、超音速空氣力學 (3)、ヘリコプター (3)、航空機推進論 (3)、熱傳導 (3)、飛行船設計 (4)、航空機體構造解力特論 (3)、機械的振動および實驗 (4)、潤滑 (3)、ジェット推進の内部的空氣力學 (3)、剛體力學精論 (3)、航空機および放射體の安定論 (3)、粘性流體理論 (3)、壓縮性および非壓縮性流體力學特論 (3)、空氣彈理性論第一 (構造および力學的觀念、3)、同第二 (翼のフラッタおよびその安定、3)、同第三 (不定常エヤフォイルの空氣力學、3)、輪講 (不定) などである。

各年々の學科課程、講義要目、教授陣の研究報告等はすべて Bulletin として發表している。最近、筆者の手許にきたものの中には、次のようなものがある。

No.59. Shielding for Diathermy, by W. C. Stoker and W. W. Seifert.

No.60. 125 Years of Chemistry at Rensselaer Polytechnic Institute, by H. S. Van Klooster.

No.61. Planned Individualism in Engineering Education, by L. W. Houston, President.

No.62. Laminar Theory of the Flow through a Turbo-machine, by F. G. Gravalos.

- No.63. The Inhibition of Foaming, by S. Ross.
- No.64. Nuclear Chemistry at R. P. I., by H. M. Clark.
- No.65. Azariah Thomas Lincoln, by H. S. van Klooster.

イリノイ大學工學試驗所

University of Illinois Engineering Experiment Station, Urbana, Illinois.

この試験所は1903年に設立され、工學、生産、鐵道、その他イリノイ州の産業にとつて重要な問題の試験や研究を行うことを目的とする。この試験所は、所長、所長補佐、工科大学の學科の長、工業化學擔任教授および大學の工學廣報出版部長とから成る執行委員會によつて運営され、この委員會は、試験所の業務を支配する一般方針を確立する責任を持つと同時に、公表出版すべき資料の認否をもつかさどる。この試験所には、専任の補助研究者、大學院研究生および特別の研究者から成る研究團があるが、工科大学のすべての教官は、獨自に、または上記の研究團に協力する形で、この試験所で科學的研究を行うことになっている。

この試験所で行われた研究の成果を世の中のために役立たせるために、試験所は試験所報告として Bulletin を發行し、また、一般には容易に入手できないような各種方面の資料から編集した時宜に適した情報や、その研究にとつては直接の関係はないが、ある特別の問題の研究途上において得られた重要な情報を収めた Circular をときどき出版する。さらに、この試験所の所員が學會誌等に發表した論文報告類は、これを試験所の Reprint として通し番號を付して出版している。

この試験所から、當研究所に最近送つてきた Bulletin には次のようなものがある。

No.388. Cleavage Fractures of Ship Plates, by W. M. Wilson, R. A. Hechtman and W. H. Bruckner.

No.389. An Evaluation of the Hardening Power of Quenching Media for Steel, by E. J. Eckel, R. M. Mayfield, G. W. Wensch and F. A. Rough.

No.391. Radiant Baseboard Heating and Effects of Reduced Thermostat Setting and Open Bedroom Windows at Night, by W. S. Harris and R. H. Weigel.

No.395. Almost Sinusoidal Oscillations in Nonlinear Systems, Part I: Introduction—Simultaneous Oscillations, by J. S. Schaffner. (福田武雄 26. 12. 20)

“生産研究”第4巻第2號(2月號)

正誤表

頁	段	行	種別	正	誤
4	右	19	數式	$2 \left[\frac{kR}{12} \left(\frac{R}{d} \right) + \dots \right]$	$2 \left[\frac{kR}{12} \left(\frac{R}{d} \right) + \dots \right]$
//	//	15	本文	$t=0.1 \text{ cm}$	$t=0.1 \text{ mm}$
5	左	2	//	可動線輪の……	可動線型の……
6	//	1	//	5000	500000
//	右	18	//	10000	100000
11	右	23	//	(1)	()
//	//	//	//	17 の	1 の
12	左	21	第1表	上塗(2.の右上欄)	下塗
//	//	10	本文	上塗1回	上塗 回
15	右	1	//	はなはだ	はだ
21	右		第1圖	寫眞逆(天地)	
22	左		第4圖	寫眞左右逆	